

軽トラック幌 KH-5

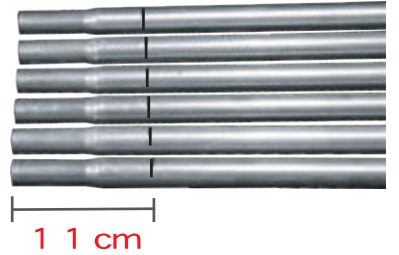
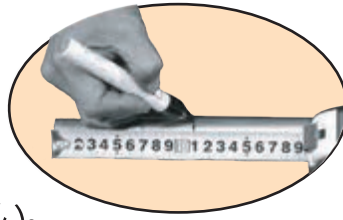
組立説明書



1 脚パイプの準備

- ②脚パイプ 6本に、各ジョイント(④⑤)を取り付けるための、**目印線**をつけておきます。(後で取り付けます。)

※オス(先が細くなっている方)の先から、**11cm**を計り、マジック等で印を付け下さい。



- ②脚パイプ 6本の、高さ調整をする。

※軽トラのキャビンの高さ(キャビン後部、鳥居部)は、各メーカーにより違いがあるためです。

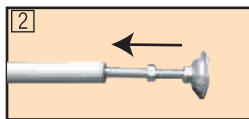


脚高さ調整アジャスターの目安幅		※ 2014年12月新車販売比較	
	ダイハツ ハイゼット 約3.5cm		ホンダ アクティ 約0cm
	スズキ キャリイ 約3cm		日産 クリップパー 約3cm
	マツダ スクラム 約3cm		トヨタ ピクサス 約3.5cm
	スズキ ヴァンバン 約3.5cm		スバル サンバー 約3.5cm
	三菱 ミニキャブ 約4.5cm	目安幅ですので、各車に応じて、設置後の最終調整が必要です。	

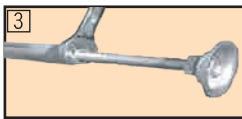
引き出し手順



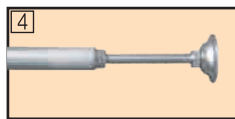
① ドライバーなどで回すとアジャスターが引き出ます。



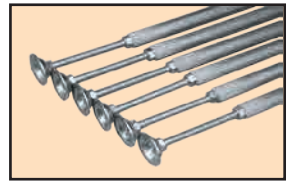
② ナットを移動させる。



③ 目安幅を計り、ナットを仮締め(固定)する。



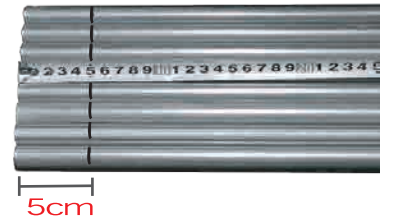
④ アジャスター調整完了。(仮調整です)



2 脚部の組み立て

- ③横通しパイプ 8本に、各ジョイント(④⑤)取り付け用の**目印線**をつける。

※ 片側に、パイプ先から、**5cm**を計り、マジック等で印を付け下さい。

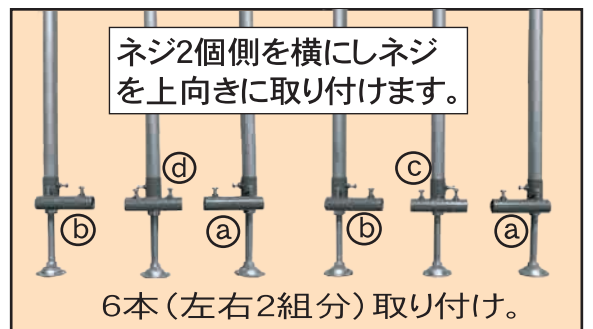
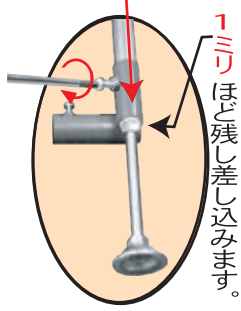
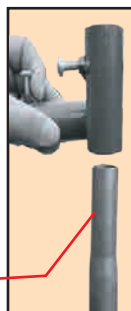


- ②脚パイプ(調整済み)に、④T型ジョイント(a b c d)を取り付ける。

※ 各ジョイントは、ネジが1個側を差し込みます。

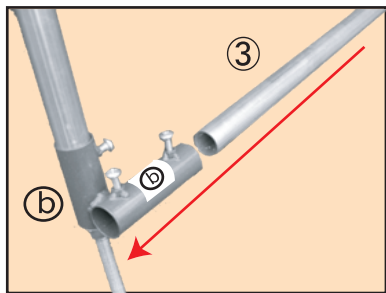
※ 各T型ジョイントを②脚パイプ(調整済み)に差し込んでいきます。T型ジョイントの位置決め後、ネジを締め込み固定します。

脚パイプのオス(先が細くなっている方)から差し込みます。



● ③横通しパイプ 2本を取り付ける(2組)。

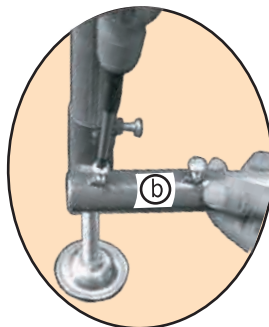
※ 両側の④T型ジョイント(㉑ ㉒)への取り付け。



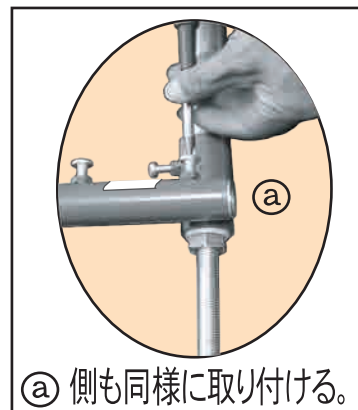
③横通しパイプは、5cmの目印線が無い方を差し込む。



1 mm ほど出す。

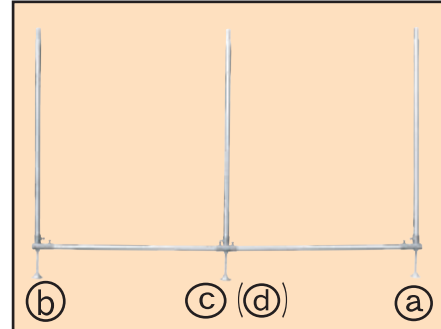
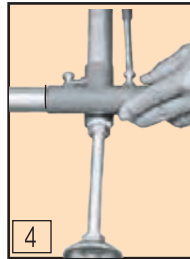
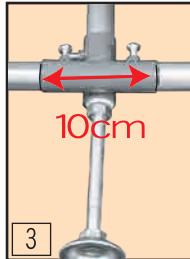
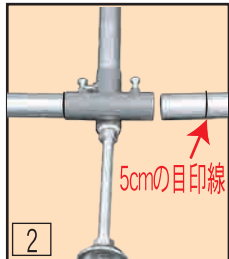
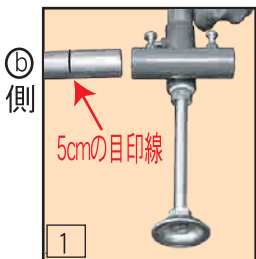


ネジを締め込み固定する。



㉒側も同様に取り付け。

※ 中央の④T型ジョイント(㉓ ㉔)への取り付け。



③横通しパイプは、㉑側 ㉒側 それぞれ 5cmの目印線がある方を差し込み線に合わせます。

ネジを締め込み固定する。

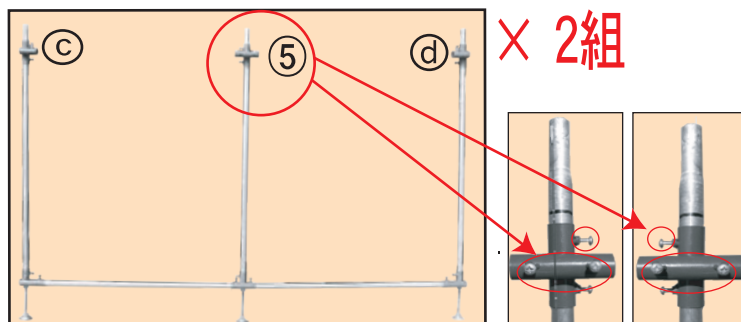
11

3 アーチパイプの取り付け その1

- 2で組み立てた脚部に、④T型ジョイント(㉑ ㉒)、⑤十字ジョイントを取り付ける。

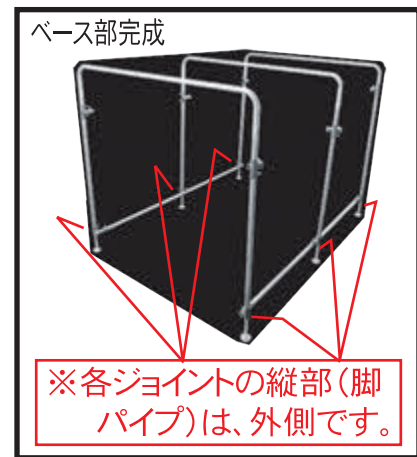
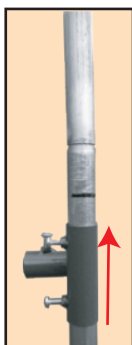
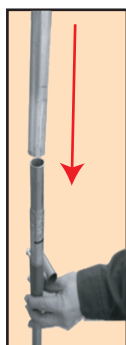
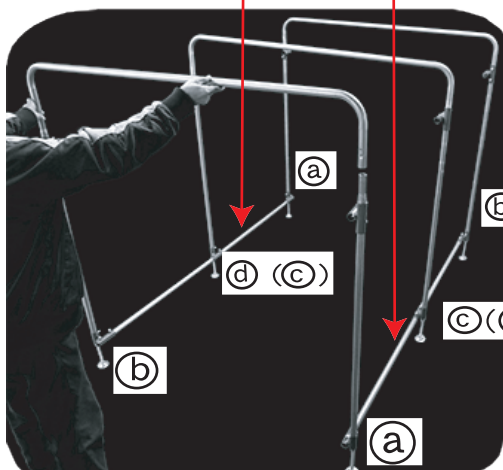
※ ⑤十字ジョイントは、向きを入れ替え、この脚部を2組作る。

※ 1で付けた目印線より下の位置で、各ジョイントを仮止めしてください。



- 脚部に、①アーチパイプ 3本、取り付ける。

※ 横通しパイプは内側になります。

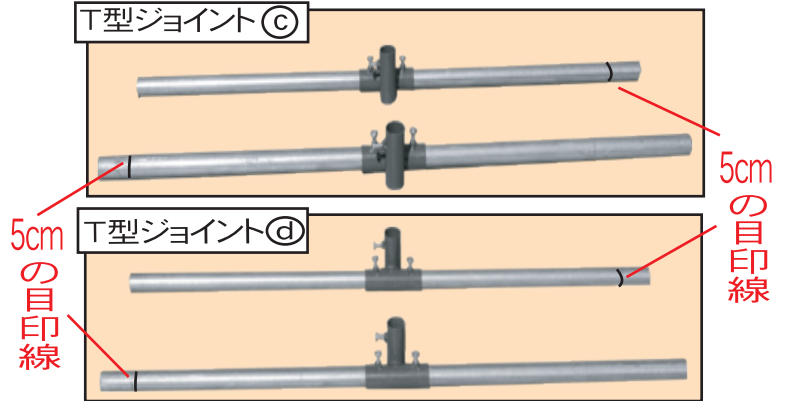


※ ①アーチパイプを、脚パイプにしっかり取り付け、各ジョイント(㉑ ㉒ ㉓)の下部を、目印線に合わせ、ネジを締め込み、仮止めしてください。

4 上部横通しの取り付け

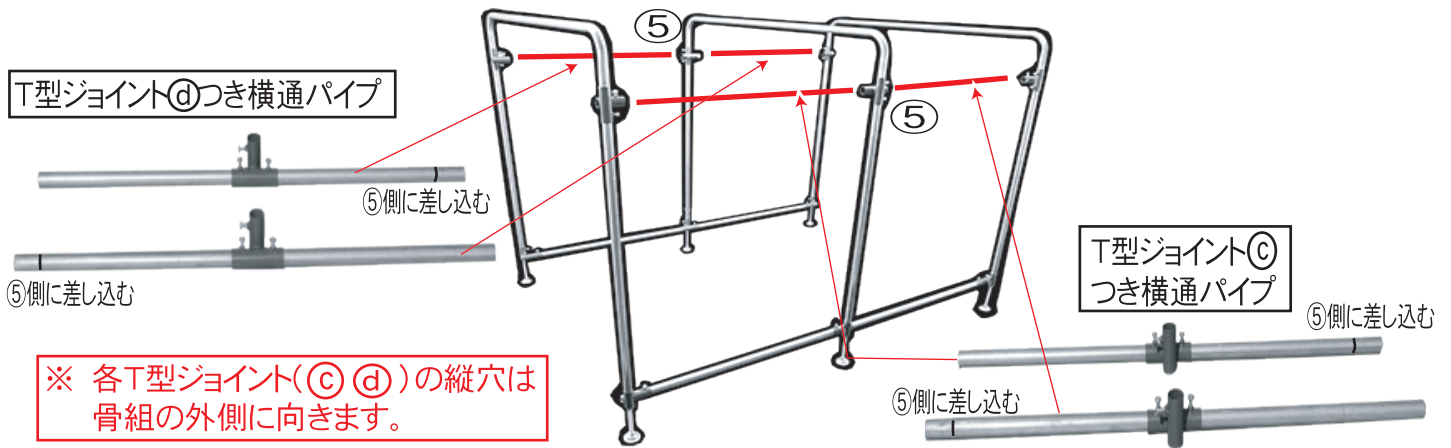
- ③横通しパイプ 4本に、④T型ジョイント(㉔㉕)を差し込む。

※ ③横通しパイプを、**2** で付けた5cmの印線がある方を左右に置き(2組)、各T型ジョイント(㉔㉕)を通します。ネジの締め込みは、**5** アーチパイプ取り付け その2で行います。



- **3** で組み立てた骨組に、ジョイントつき横通しパイプを取り付ける。

※ 骨組に取り付けられた、前後のT型ジョイント(㉔ ㉕)に横通しパイプを通し、5cmの目印線がある方を、⑤十字ジョイントに合わせ取り付けます。



取り付け手順
差込手順

1

2

3

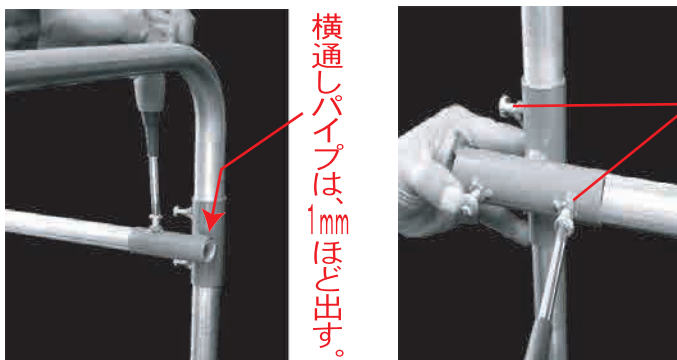
※ 残り3本も同様に。

5cm目印線が無い方を、脚パイプに取り付けた各T型ジョイント(㉔ ㉕)に、差し通します。

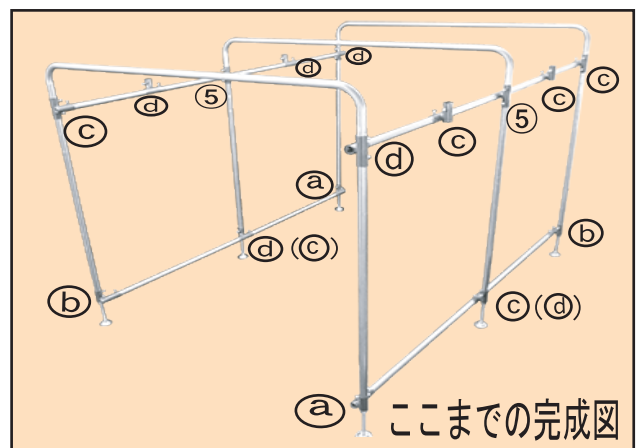
⑤ 十字ジョイントに、差込む。

5cmの目印線を⑤十字ジョイントに合わせる。

※ 各ボルトを締め込み固定します。



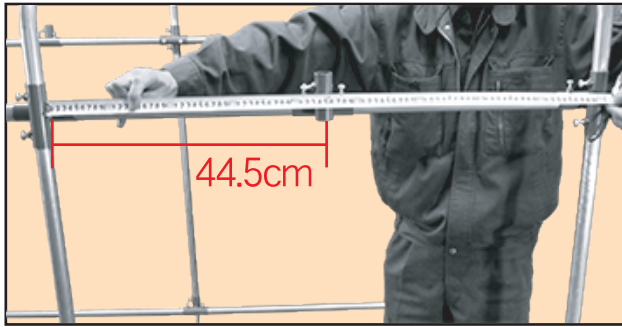
縦方面、横方面のネジを締め込みます。



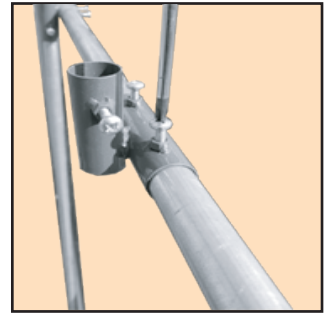
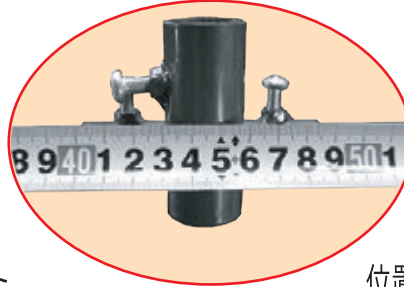
5 アーチパイプの取り付け その2

● 残りの、①アーチパイプ 2本を取り付ける。

※ 中間のT型ジョイント(◎◎) 4箇所 の位置決め。



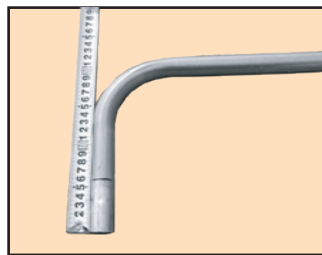
T型ジョイントの拡大図。



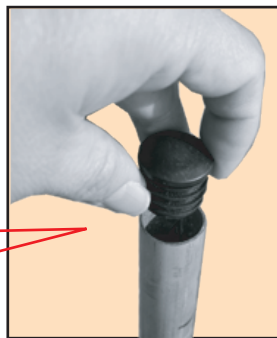
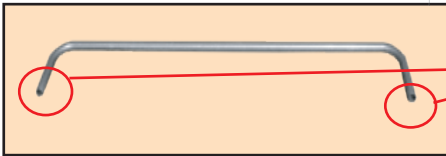
位置が決まった各T型ジョイントのネジを軽く締め込み、仮固定します。

⑤ 十字ジョイントの縦差込パイプの内側から、44.5cm計り、そこが中心になります。

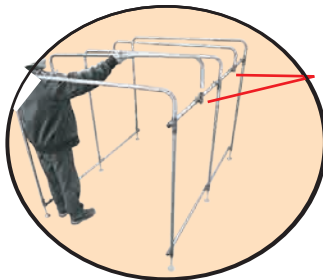
※ ①アーチパイプの差込部に、5.7cmの目印線を付けます。(左右両サイド 2本)



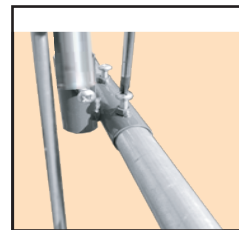
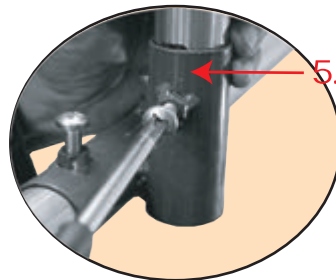
※ ①アーチパイプ差込部に、⑥キャップを取り付ける。(左右両サイド 2本)



※ キャップが付いたアーチパイプを差込み、5.7cmの目印線に合わせ、固定します。

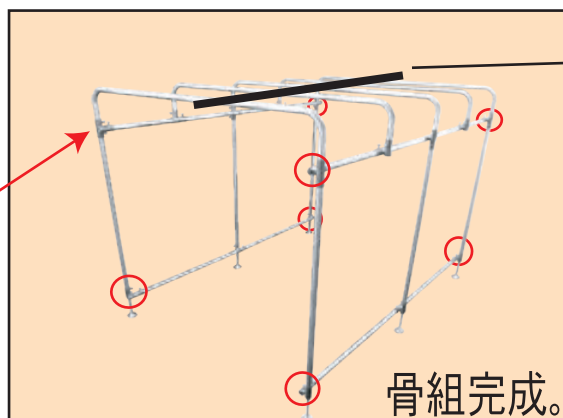
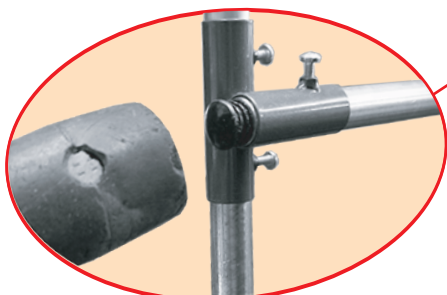


差し込みます。



アーチパイプ差込後、横通し取り付けネジを締め込んでください。

※ ⑥キャップを、8箇所、取り付ける。



5本のアーチパイプは、同じ高さになります。

骨組完成後、左右平行確認をし、再度各ジョイントのネジの締め込みをして下さい。

6 骨組に幌天幕を被せる

※ ⑨幌天幕を、袋から取り出し広げます。
この時、幌(後ろ部)のファスナーを、
すべて、開けておきます。



※ ⑫幌天幕を、骨組に被せます。
(骨組に前後はありません。)

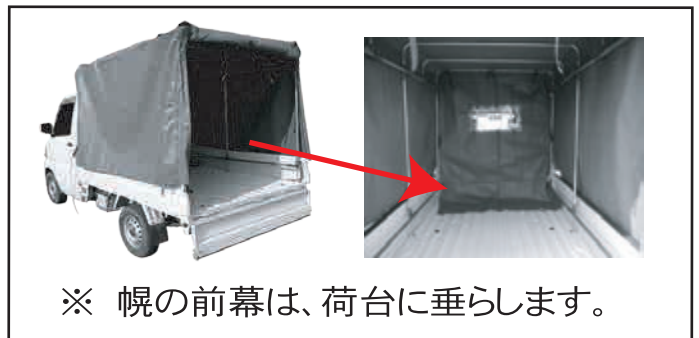
※ ファスナーがある方が、
幌の後部になります。



※ 天幕を広げる際、地面を引きずり、傷つけないよう、注意してください。
ファスナーの開閉は、必ず、持ち手(スラス)を使用してください。

7 幌セットを、軽トラに取り付ける

● 幌セットを、載せる。

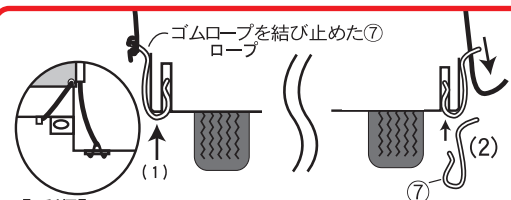
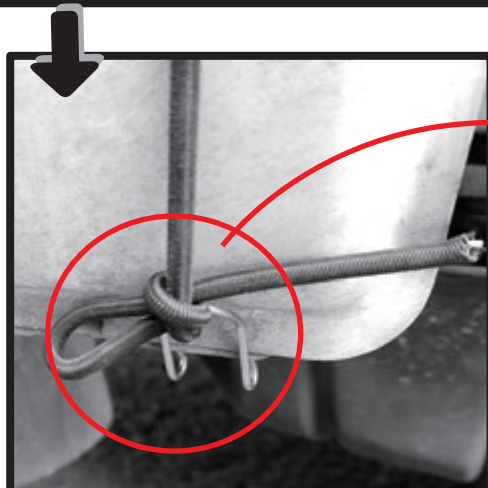
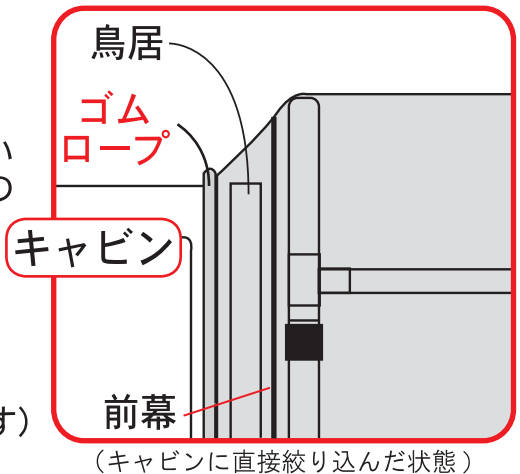


※ 幌の前幕は、荷台に垂らします。



前幕カブリ部を
キャビンに出来る
だけ隙間が出来ない
ように、キャビンの
溝に合わせます。

(車種により溝の
形状が異なります)



【手順】

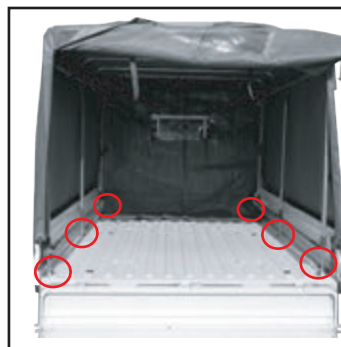
- (1) 片側のゴムロープを⑦に結び止め、車体に引っ掛けます。
- (2) 反対側は、⑦だけ車体に引っ掛けます。
- (3) ゴムロープ部が、キャビンの溝に、はまり込むよう、しっかり引っ張り、反対側の⑦に結び止めます。

※ この時、溝に、はめ込んだゴムロープ部が、ゆるくないか確かめて下さい。

※ カブリ部に隙間ができてたり、被りすぎた場合は、脚パイプアジャスターで、上下調整してください。

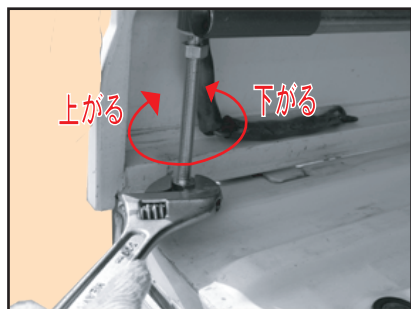
● 幌の高さ調整。

※ 脚アジャスター(6本)を最終調整します。各車の、一本一本の設置状況に応じて、高さの微調整を行って下さい。

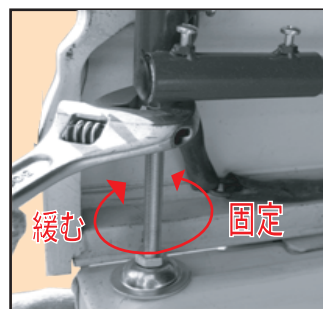


脚アジャスター6箇所

各メーカー、年代により、荷台の形状等に違いがあります。各車の状況に合わせて、一本ずつの調整を、オススメします。



高さ調整は、アジャスター下ナットです。右回して、幌セットが上がります。左回して、幌セットが下がります。



アジャスター上ナットは、固定用になります。高さ調整の際は、緩めて作業してください。

※ 脚アジャスターの調整後は、上ナットを締め込み、しっかり固定してください。



8 幌セットを、軽トラックに固定する

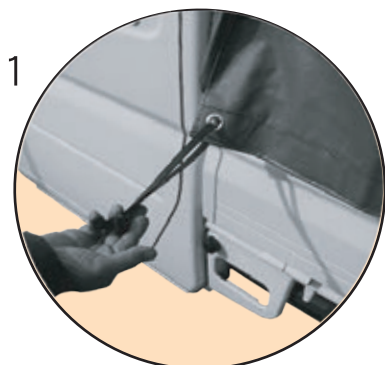
● ⑧固定用ロープで、幌セットの骨組を固定する(脚パイプ 6本)。



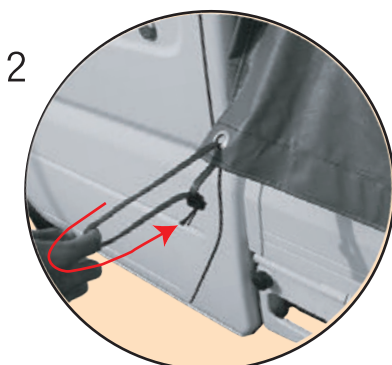
各脚パイプ 6本をしっかり、固定してください。

● ゴムバンドの取り付け。

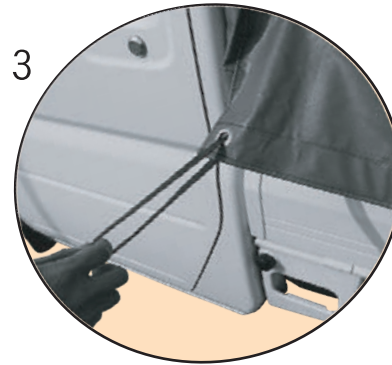
※ ⑩ゴムバンドを、幌幕のハトメ穴に通し、輪を作ります。



⑩ゴムバンドを、ハトメ穴に通し、結び付ける。



結びつけたゴムバンドを回します。



結び目が、ハトメの下に隠れます。ゴムバンドが、引っ掛けやすくなります。

※ ハトメの穴に、ゴムバンドを全部とりつけます。



※ 幌幕両側面のゴムバンドを、荷台フックに引っ掛け、固定します。



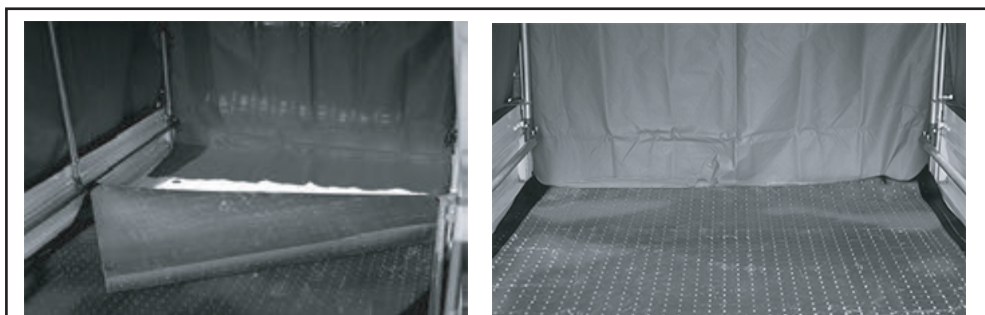
後幕は、内部の取り付け作業を行いますので、空けたままで結構です。

● 幌内部(幕内部に付いている紐)を、骨組に取り付けます。



● 軽トラック用ゴムマットで固定します。

(軽トラック用ゴムマット(別売り)は、個別にご用意ください。)



※ 前幕の荷台に垂らした部分に、ゴムマットを被せます。

※ 前方から入ってくる雨水を、ゴムマットと荷台の間に流し込み幌内部を濡らしにくくする効果があります。

完成 軽トラ幌セット KH-5



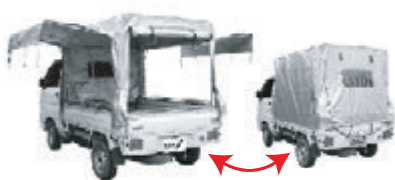
後幕を巻き上げ、
ベルト留めができます。

- ※ 高速走行(高速道路等)は危険ですので、お止めください。
- ※ 走行する際は幌天幕をしっかり、ゴムバンドで固定してください。幌天幕のバタつきは、シートの消耗の原因になります。また、走行中に、幌天幕が外れる恐れがあり、大変危険です。
- ※ 定期的に各箇所、ボルト、ナット、ネジ等の緩みがないか、確認して下さい。



各車イメージです

好評販売中 軽トラ幌シリーズ



KH-1814型 (サイド跳ね上げ式)



KH-4型 (3方向5箇所の開閉可能)



3方向
5箇所開閉

NAN-1
CORPORATION

製造発売元

南榮工業株式会社

軽トラック幌KH-5

組立部材表

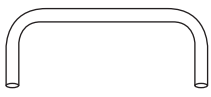

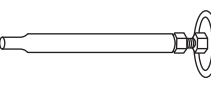

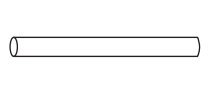





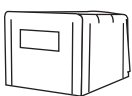


保存

【1601】

【注意事項】

- ※組立作業を行う前にダンボールケース内の部材確認をお願いします。
 - ※ジョイントは取り付け方向がありますので、組立説明書をよくお読みください。
 - ※『安全上の注意』を良くお読みになり安全に作業をしてください。
 - ※軽トラックに幌を取り付けての高速走行等(高速道路、有料道路)は、製品破損・事故誘発の原因になり危険ですのでお止め下さい。
 - ※幌シートの取り付け不備、劣化等により、雨漏りのおそれがあります。
- ⚠ 電気製品、寝具、その他の再生不能な物の運搬は避けて下さい。**

※軽トラックゴムマットは別売りです。

No.	品名	規格	数量	形状	No.	品名	規格	数量	形状
①	アーチパイプ	25×167LL mm cm	5		④	㊦ T型ジョイント	28×28 mm mm	5	
②	脚パイプ	25×113S mm cm (アジャスター付)	6		⑤	十字ジョイント	28×28 mm mm	2	
③	横通しパイプ	25×93.5 mm cm	8		⑥	キャップ	25用	12	
④	T型ジョイント各種				⑦	絞りクリップ		2	
	㊦ T型ジョイント	28×28 mm mm	2		⑧	固定用ロープ	4.5×1 mm m	6	
	㊧ T型ジョイント	28×28 mm mm	2		⑨	幌天幕		1	
	㊨ T型ジョイント	28×28 mm mm	5		⑩	ゴムバンド	60 cm	20	

準備する工具



スケール
(寸法計測用)



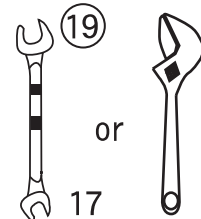
マジック
(パイプ印用)



ハンマー
(部品取付用)



プラスドライバー
(部品取付用)



スパナ 17 or モンキースパナ
(部品取付用)

○印の方を使用する

※幌シートは、張り替え用があります。販売店にお問い合わせください。



製造発売元 南榮工業株式会社
〒885-0004 宮崎県都城市都北町5025
TEL 0986-38-0111

安全上のご注意

この商品を安全に正しく使用して頂く為に、組立られる前、また使用される前にこの『安全上のご注意』を良くお読みの上、十分に理解して頂き正しくご使用下さい。

- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容記載していますので必ず守って下さい。
- 表示の意味は次のようになっています。



警告

誤った取り扱いをした時、人が死亡または、重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。



注意

誤った取り扱いをした時、人が重傷を負ったり物的損害の発生が、想定される内容を示します。



警告

- ◇使用前には、フレームとシートの点検を必ず行って下さい。(フレームの変形、シートの破れキズ、各 부품のネジ・ボルトの緩み等)
- ◇フレームが破損した場合は、非常に危険ですので使用を中止して、当製品をお買い上げになった販売店にて、交換部材等をお買い求めになり、正しく取付けられた後、安全を確認してから使用して下さい。
- ◇走行中の外れ等、万が一の危険を想定して荷台への固定等は確実にしっかり行って下さい。
- ◇風対策としてのフレームと荷台の固定を別途行って頂きます様お勧めします。
- ◇強風・あるいは降雪が予想される時は、使用を中止してフレームとシートを取り外して別途保管して下さい。
- ◇フレームの上に載ったり、過重がかかるような使用は絶対に行わないで下さい。



注意

- ◇フレームにフレームに物を掛けたり、ぶらさがらないで下さい。(特に子供さんには十分注意をして下さい。)
- ◇軽トラック幌本来の機能(荷台への雨・風・日光よけ)以外で使用しないで下さい。
- ◆組み立て・シート取付け等の作業には十分に安全を確認して下さい。
- ◆**時速80km以上(高速道路)の走行は危険ですので止めて下さい。**
- ◇ゴムバンド取扱い上の注意
 1. ゴムの中に含まれている油分の浸透により、色移りする場合がありますので、使用時には養生等を行なって下さい。
 2. ゴムバンドを使用する際は、跳ね返りやゴムが切れる場合がありますので、引張る直線上に人がいないように注意して使用下さい。
 3. ゴム表面にひび割れやキズ等が発生した場合は、使用を避けて下さい。
 4. 高温の場合での使用は避けて下さい。
 5. 伸張力を最大に伸ばして使用の場合、風圧等で切れる場合がありますのでよく確認してから使用して下さい。

この組立説明書及び『安全上のご注意』は、事故防止と部品交換時の為に大切に保管して下さい。